

令和5年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 細 川 信 二

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

自 民 党 安 井 正 浩

公 明 党 牧 野 守

共 産 党 佐 藤 純 子

秋 水 会 渡 辺 正 宏

フロンティア秋田 後 藤 良

自 民 党 伊 藤 巧 一

1 未来が見える秋田市を目指して

(1) 市長の政治姿勢について

ア 4期目の後半2年間において、市民の命と暮らしを守り抜くための覚悟はどうか、また、外旭川地区のまちづくり以外に取り組むべき重要課題は何か

(2) 新型コロナウイルス感染症対策を振り返って

ア コロナ禍の3年間を振り返り、コロナ禍で得られたもの、未来への教訓は何か

イ 学校教育におけるコロナ禍での対応をどう評価しているのか、また、教育委員会と教育現場との温度差はどのようなものであったのか、さらに、コロナ禍で得られたものは何か

(3) 港湾の振興について

ア (仮称)秋田港港湾ビジョンを策定し、市としてより積極的に取り組んでいくべきと考えるがどうか

(4) 文化の振興について

ア 中心市街地や地域拠点において、ポップカルチャーやサブカルチャーなどの要素を取り入れた文化振興策にも取り組んでいくべきと考えるがどうか

(5) 新スタジアムの整備とプロスポーツへの支援について

ア 新スタジアムの整備について

(ア) 本市のこれまでの説明と知事の見解に大きな差があるように感じるが、どう認識しているのか

(イ) 早期実現が急務であると考えますが、果たして外旭川地区のまちづくりの一環として行うことが適切なのか

イ 包括外部監査で指摘事項とされたスポーツホームタウン推進事業補助金について、今後どのように取り組んでいくのか

(6) デジタル化の推進について

ア 市の業務におけるチャットGPTなどの生成AIの活用について

どのように考えているのか

イ 教育現場における生成 A I の活用についての見解はどうか

2 明日も子供と一緒に歩みたくなる秋田市を目指して

(1) 政府が異次元の少子化対策を掲げているが、本市として独自に取り組む異次元の対策はどうか、また、国庫補助等の拡充を見込み、新たな子育て支援策を検討しておくべきと考えるがどうか

(2) 子育て世帯の支援の一環として、放課後児童クラブを利用している世帯の家計負担軽減を目的とした助成を行ってはどうか

(3) 私立保育所等障がい児保育補助金について、1人当たりの上限額をさらに増額すべきと考えるがどうか

(4) 教育・保育施設の活用及び課題への取組について

ア 教育・保育施設の空きスペースの活用及び施設運営について

(ア) 将来予想される教育・保育施設の定員割れに対して、どのような対応を考えているのか

(イ) 市内各地域により多くの子育て拠点施設、子ども食堂、子どもの居場所等を設置するために、民間による開設のサポート及び運営に関する相談体制の整備など、物心ともに支援する考えはないか

イ 教育・保育施設における体験学習、研修について

(ア) 教育・保育施設において、小学校高学年の児童及び中学生を対象とした保育体験学習を行う考えはないか

(イ) 市の新規採用職員を対象とした保育体験研修を行う考えはないか

(5) 子供の口腔衛生について

ア 市立小・中学校において、希望する児童生徒を対象として実施しているフッ化物洗口事業で一定の効果が上がっているが、永久歯が生える前から始めることがより効果を高めるとのことから、試験的に園児等を対象としたモデル事業を行う考えはないか

(6) 不登校児童生徒への対応について

ア 増加傾向にある不登校児童生徒の居場所づくりについてどう考えているのか、また、公立の不登校特例校を開設する考えはないか

1 教育について

(1) 主権者教育について

ア 市立高等学校等でのこれまでの取組状況はどうか、また、今後どのように取り組んでいくのか

イ 令和4年4月から高等学校で始まった新科目「公共」について、市立高等学校の生徒たちはどのように捉えているのか

ウ 小・中学校では、どのように取り扱っているのか

(2) 教職員の労働環境について

ア 労働環境をどのように認識しているのか

イ 長時間労働は是正されているのか

(3) 児童生徒の安全を守るため、校舎出入口のオートロック化を検討すべきと考えるがどうか

2 大森山動物園等について

(1) 大森山動物園について

ア 経営状況について、改善すべき点はないのか

イ 教育について、小学校等との連携はどのように行っているのか

ウ 同園の伝えるべきことは何か

(2) 大森山公園について

ア 今後、大森山動物園を含めた整備を加速して行う必要があると考えるがどうか

3 道路除排雪について

(1) 今後の道路除排雪作業に向け、新たに検討していることは何かあるのか

(2) 作業員の労働環境は厳しいものがあるが、改善に向けた方策を考えているのか

(3) 高齢化等により、作業員の減少が危惧されるが、今後、作業員の確

保についてどのように考えているのか

(4) 道路除排雪の作業として「圧雪」も考えられるが、検討してはどうか

4 職員の処遇について

(1) 再任用制度における給与水準について、定年延長制度と同様の水準まで引き上げるべきではないか

(2) 会計年度任用職員について

ア 令和6年度以降の勤勉手当の支給について、どのように考えているのか

イ 家族看護等休暇について、正職員との間に格差が生じているが、改善する考えはないのか

ウ 給与の引上げを検討してはどうか

5 入札中止について

(1) 佐竹史料館の建設建築工事等について

ア 入札中止の理由は何か、また、今後どのように対応するのか

イ 入札中止が工期に与える影響はどうか

(2) 令和元年度からの工事関連の入札中止件数はどのくらいか、また、その主な理由は何か

6 市街化調整区域に係る開発行為等について

(1) 都市計画法第34条第1号の店舗等に係る運用を見直すべきと考えるがどうか

(2) 都市計画法第34条第11号の指定区域内の開発行為に係る緩和内容を見直すべきと考えるがどうか

(3) 都市計画法第34条第12号の指定区域を活用させる考えはないか

(4) 国土交通省の開発許可制度運用指針にある既存建築物の用途変更を積極的に活用してはどうか

7 街路樹等の剪定について

- (1) 各市民サービスセンターの職員と専門家等との会議は開催しているのか
- (2) 強剪定を防止するため、剪定に関するガイドラインを作成してはどうか
- (3) 国土交通省の道路緑化技術基準の解説書にある「適正な剪定位置の図解」を参考とすることを指示書に記載することは可能なのか
- (4) 剪定作業について、職員の作業現場への立会いや完了検査を行うべきと考えるがどうか
- (5) 中通二丁目広場内にあるケヤキについて
 - ア どのような意図をもって強剪定したのか
 - イ 鳥のふん害等による被害を解消するため、どのような方策を検討したのか

8 ごみの減量について

- (1) 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の減少幅が鈍化しているが、この要因をどのように捉えているのか
- (2) リサイクルの観点から、ごみの分別を細分化すべきではないか、また、細分化した上で、市民にごみの分別の徹底を強く促すべきと考えるがどうか
- (3) プラスチックごみを分別収集すべきと考えるが、現在の検討状況はどうか
- (4) 物価高騰の影響に鑑み、家庭ごみ処理手数料の見直しや指定ごみ袋（家庭ごみ）の一定枚数の無料配布を検討してはどうか

1 第8次秋田市行政改革大綱（第4期・県都『あきた』改革プラン）について

- (1) 行政改革大綱とは何か、また、市政運営における位置づけはどのように捉えているのか
- (2) 実施計画に掲げる「年度別取組内容」や「成果指標」には、当初の取組目標達成には寄与しない不備が散見されることから修正が必要ではないか
- (3) 行政改革大綱の根幹をなす取組項目の選定に、大きな見落としがあるのではないか
- (4) 「公共交通に係る共同経営体の検討」の最終目的は何か、また、どのようなことを検討するのか

2 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 外旭川地区のまちづくりは市民の理解を得ながら進めるべきではないのか、また、先を急ぐ理由は何か

3 デジタル化推進計画について

- (1) 生成AIやRPAを活用した業務の効率化について明確な目標を設定し、業務改革をさらに加速させるべきではないか
- (2) デジタル化の対象から見落とされている業務・サービスが散見されることから、対象業務の見直しが必要ではないか

4 秋田市立体育館について

- (1) 秋田市立体育館は雨漏りの修繕を諦め、八橋運動公園近隣に移転新築してはどうか

5 管理放棄不動産の「財産権」と近隣住民の「公共の福祉」について

- (1) 近隣住民の公共の福祉に反する管理放棄地への対応に、秋田市は手

をこまねくばかりなのか

1 本市の経済について

- (1) 本市の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたにもかかわらず、物価高騰の影響等によりコロナ禍前の状況までは回復できていないと考えるが、現状についてどのように認識しているのか
- (2) コロナ禍において、本市独自で様々な事業者支援を行ってきたが、その成果についてどのように分析・評価しているのか
- (3) 本市経済の回復を図るため、今こそ再度消費喚起策が必要と考えるがどうか

2 人口減少対策について

- (1) 本市の現状における課題は何か
- (2) 若年層の大都市への流出を防ぐため、大都市との所得の差を埋める施策を実施すべきではないか
- (3) 若い女性の地元定着のためには、女性にとって魅力的な企業の誘致が必要であるが、女性の新規雇用を積極的に行う誘致企業には、より有利な優遇措置を設けるなどの施策を実施すべきと考えるがどうか
- (4) 住宅支援について
 - ア 建物の老朽化などの理由で貸出しできない部屋も含め、市営住宅の空き部屋数の現状をどのように捉えているのか、また、空き部屋の有効活用を検討してはどうか
 - イ 市営住宅への入居要件を本市に居住または継続的に勤務している人に限らず、本市への転入予定者でも入居できるようにすることで、転入を促進すべきと考えるがどうか
 - ウ 市営住宅を大規模改修し、若い世代が入居したくなるような仕様にすべきと考えるがどうか
 - エ 空き家を市が借り上げ、若い世代が市営住宅相当の家賃で入居できる、準市営住宅として提供してはどうか

3 移住定住について

- (1) これまで取り組んできた移住定住施策の主な取組内容はどうか、また、その成果をどのように評価しているのか
- (2) アフターコロナを見据え、首都圏から秋田市への移住・定住・交流などの人の流れを確かなものとするため、本市ではどのような戦略が練られているのか

4 中心市街地の活性化について

- (1) 中心市街地の空洞化が進んでいると考えるが、本市としての認識はどうか、また、こうした状況の中で、どのようにして中心市街地のにぎわいを創出していくのか
- (2) マンションの建設による、中心市街地の居住人口及び交流人口の増加をどのくらいと見込んでいるのか
- (3) 共有名義などの理由で利活用が進まない土地について、開発会社や不動産業者等からの相談を受け付け、市が主体的に調整を行い、利活用を促進すべきと考えるがどうか
- (4) 商店街に対する支援策について
 - ア 商店街は地域の防犯やコミュニティーの形成などで重要な役割を担っているが、中心市街地では、自動車でのアクセスの不便さなどにより、存続の危機にあることから、維持・存続や活性化のための支援を拡充していくべきと考えるがどうか

5 ふるさと納税について

- (1) 令和4年度の秋田市ふるさと応援寄附金の実績が、令和3年度と比べて大幅に減少した理由をどのように分析しているのか
- (2) 秋田市ふるさと応援寄附金は、地域活性化や地域課題の解決など多岐にわたる事業に活用されているが、寄附金額が減少したことにより、これらの事業実施に支障はなかったのか
- (3) 本市ならではの魅力的な返礼品について

ア 積極的に企業訪問を行い、魅力的な返礼品の掘り起こしを推進すべきと考えるがどうか

イ 各返礼品の紹介動画を作成すべきと考えるがどうか

ウ 返礼品の魅力をPRするため、専門的な職員を増員する考えはないか

(4) より多くの方から寄附を募るためには、今後どのような取組を強化していく必要があると考えているのか

6 農産物のブランドづくりと販売戦略について

(1) 本市の農産物のブランド化に向け、どのような取組が効果的と考えているのか

(2) 6次産業化による農業者所得の底上げ及び新たな雇用の創出について、現在、どのように取り組んでいるのか、また、今後の取組はどうか

7 スマート農業について

(1) 生産性及び品質の向上のため、ICTを活用した農業支援として、養液土耕栽培システムや水田の水管理システム、農業用ドローン等のスマート農業の取組が行われているが、本市での実績はどうか

(2) スマート農業の取組は、農作物の収穫量の増加と品質の向上、労働時間やコストの削減、精密な栽培管理等が可能となるため、本市の農業分野における課題解決のためにさらなる広がりが期待されるが、取組農家の増加に向けた課題をどのように捉えているのか、また、今後どのように進めていくのか

8 秋田市園芸振興センターについて

(1) 同センターの研修生との研修修了後の関わりはどうか、また、研修修了後の支援はどのようになっているのか

(2) 研修修了後の就農実態と離農状況はどうか、また、離農の原因は何か

- (3) 近年の急速な農業経営環境の変化に対応できない農業従事者への対応をどのように考えているのか
- (4) ICTを活用した農業を習得し、指導できる人材を育成するため、秋田県立大学と連携して、同センターでも「スマート農業指導士」の資格を取得できるようにする考えはないか

9 空き家対策について

- (1) 人口減少に伴い年々増加する空き家の現状はどうか、また、今後どのような対策を講じていくのか
- (2) 空き家が発生する背景と経緯を把握することが未然防止と問題解決に通じると考えるが、本市の認識はどうか
- (3) 相続人がいない空き家の発生を未然に防ぐため、秋田市権利擁護センターでの成年後見制度の利用促進について、さらに周知を図るべきではないか
- (4) 空き家の増加に伴い、空き家相談会の開催頻度を増やすことを検討してはどうか

10 自転車用ヘルメットの購入費助成について

- (1) 道路交通法の改正により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったため、本市でも自転車用ヘルメットの購入費助成を検討すべきと考えるがどうか

11 帯状疱疹ワクチン接種への助成について

- (1) 本市独自に接種費用を助成すべきと考えるがどうか

1 友好・姉妹都市交流及び平和活動の促進について

- (1) 市が行っている国際交流は、相互理解と国際親善を通じて世界平和に貢献するとしているが、世界情勢に鑑み、市としての役割をどう考えているのか
- (2) 国に対し、平和外交促進を進言すべきではないか

2 物価高騰から市民生活を守り抜くために

- (1) 物価が高騰する中、市民の暮らしをどう守り抜くのか
- (2) 全市民を対象とした支援を実施すべきではないか
- (3) 農業者・畜産事業者へ飼料費や資材費等を助成する考えはないか

3 子育て支援について

- (1) 高校生世代までの医療費を完全無料化すべきではないか
- (2) 学校給食費を無償化すべきではないか
- (3) 教育・保育施設等と放課後児童クラブの保育料を無料化すべきではないか
- (4) 国民健康保険加入世帯の高校生世代までの均等割を無料にすべきではないか

4 マイナンバーカードについて

- (1) 取得は任意となっているにもかかわらず、半強制的に取得させられていると感じるが、市長はどう考えているのか
- (2) 全国的に相次いでいるトラブルなどへの対応をどのように考えているのか
- (3) 健康保険証との一体化後も、現行の保険証を利用できるよう国に求めるべきではないか

5 千秋公園について

- (1) 管理運営を行う新たな組織を設置し、園内の管理やイベントの実施など、市民の憩いの場となるよう、市民ニーズに応じた運営を行ってはどうか
- (2) 宣庵など、市民活動に必要な機能を整備し、適切に維持管理を行っていくべきではないか
- (3) 千秋公園再整備基本計画等について
 - ア 桜の更新目標を年間30本としていたが、目標を達成できなかった理由は何か、また、今後は目標達成に向けどのように取り組んでいくのか
 - イ アンケート結果における改善すべき点等について
 - (ア) 城跡の価値を知ってもらうためにモデルルートを設定し、パンフレットの作成や案内板を設置するとしているが、進捗状況はどうか
 - (イ) 市民アンケートの61.7%の方が駐車場の増設を求めているが、この要望に応えるべきではないか
 - (ウ) 駐車場の増設、桜の老木の更新などを求める声が上位を占める中、ハスの観賞用の栈橋やデッキの設置を求める声は僅かであるにもかかわらず、なぜ、大手門の堀遊歩道整備を優先して進めるのか、また、同遊歩道整備は中止すべきではないか

6 選挙について

- (1) 投票したい人の権利の行使を保障することが行政の責務と考えるが、そのようになっていない現状をどのように捉えているのか
- (2) 介護保険施設などの入所者の投票権をどう守るのか
- (3) バスなどの移動投票所で投票ができるようにすべきではないか
- (4) 高齢化が進んでいることから、選挙制度の見直しを国に求める必要があるのではないか

7 秋田民謡について

- (1) 秋田の文化として位置づけ、継承していく考えはあるのか

- (2) 歴史を後世に引き継ぐため、関係資料等を展示するとともに、民謡を聴くことができる常設型のスペースを設置してはどうか
- (3) 市内で開催される全国大会へ支援を行うべきではないか

1 このたびの市議会議員選挙に対する市長の考え方について

- (1) 市長は今回の選挙をどう分析し、どう感じているのか
- (2) 4期目の折り返しを迎えた今、二元代表制の一方である新たな構成となった議会に対して、どのような姿勢で向き合っていくのか

2 組織・人事について

(1) 機構改正について

- ア 今後、財政状況が一層厳しくなることが見込まれる中、将来的に安定的な財政運営を維持するためにも、企画財政部から財政部門を独立させ、財政部として再び設置する考えはないか
- イ 市内7地域の実情に即した市民サービスの拡充と手続の効率化を図るため、市民生活部から各市民サービスセンターなどを切り離し、それらを統括した地域振興部を改めて設置する考えはないか
- ウ 本市として再生可能エネルギー事業に主体的に取り組むため、「エネルギー局」の新設を検討してはどうか

(2) 庁内における職制を明確にし、職位を誰にでも分かるよう定義づけるべきではないか

(3) 市管理施設における指定管理者制度の導入の可否を検討し、直営方式で運営することになった場合は、職員の士気向上や財政効率化の観点から、役職定年を迎えた職員や再任用職員の配置を検討してはどうか

3 八橋運動公園の整備について

- (1) 新県立体育館の整備構想に対する本市の見解はどうか、また、八橋運動公園の公園機能の維持について、どのように考えているのか

4 奨学金返還助成制度の拡充について

- (1) 若者の市内定住や定着、移住促進策として、奨学金返還助成制度の

対象範囲をさらに拡充する考えはないか

5 中心市街地の活性化について

- (1) 開業以来40年以上が経過する秋田市公営駐車場と、隣接するバス停広場の敷地を合わせた場所について、「バスタ構想」も含めた新しい公営駐車場として再整備してはどうか

6 公共施設について

- (1) 公共施設に係る使用料等の見直しに当たっては、対象施設の改修・修繕をも踏まえて検討しているのか

1 小・中学校等におけるいじめへの対応について

- (1) いじめの被害を受けたことにより、欠席が続いている児童生徒に対し、どのような対応を行っているのか
- (2) いじめを行った児童生徒がいじめを繰り返す場合があるが、そのような児童生徒への対応は十分なのか
- (3) いじめの被害を受けた児童生徒が、自分で被害を報告できるよう授業で使用しているタブレット端末から、いじめ相談窓口へ直接連絡できる仕組みを構築すべきではないか
- (4) スポーツ少年団におけるいじめをなくすため、市として何らかの取組を行うことはできないのか

2 デジタル地域通貨の導入について

- (1) デジタル地域通貨の導入によるメリット及びデメリットを本市としてどのように捉えているのか
- (2) 本市でもデジタル地域通貨を導入することにより、地域経済の活性化を図るべきではないか
- (3) 本市でもふるさと納税の旅先納税を実施し、その返礼品としてデジタル地域通貨を導入する考えはないか

3 AIの活用について

- (1) 現在、AIをどのような業務に活用しているのか
- (2) 穂積市長は、定例記者会見でチャットGPTについて、「まずは利用をするということを前提にどういう問題があるのかを早急に煮詰めさせて内部で検討しています」と述べているが、チャットGPTなどの生成AIをどのような業務に活用することを想定しているのか
- (3) 本市職員がチャットGPTなどの生成AIを活用する際に、プロンプト（AIへの指示文）のスキルが必要であると思われることから、どのように習得させるのか

4 新エネルギー社会の実現に向けた本市の取組について

- (1) 水素、アンモニア、合成メタン等を活用した新エネルギー社会の実現に向けて、本市では、現在、どのような取組を行っているのか、また、今後、どのように取り組んでいくのか
- (2) 市民生活から排出される下水汚泥からグリーン水素を製造するなど、水素の利活用を促進する考えはないか

5 市営住宅について

- (1) ゼロカーボンシティ宣言を行った本市として、再生可能エネルギーの利用促進を図るため、市営住宅にソーラーパネルを設置し、入居者へ電力を供給してはどうか
- (2) AIやICTを活用した未来が見えるまちづくりを推進するため、市営住宅を新築する際に、スマートホームに対応した設備を設置する考えはないか

6 マイナンバーカード関連サービスに係る誤登録について

- (1) 本市において、誤登録はなかったのか
- (2) 誤登録を防止するため、本市として、どのような取組を行っていくのか

7 市民の健康増進・運動の習慣化に向けた取組について

- (1) はずむ！スポーツチャレンジデーは、市民の健康増進・運動の習慣化に、どの程度の効果があったと考えているのか
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、運動の機会が減少したとの市民の声があることから、運動の習慣化のきっかけづくりのため、市として何らかの取組を行うべきではないか

8 市民への情報発信について

- (1) 子育て情報など、市民にとって重要度が高い情報は、ユーチューブ、

インスタグラム、ティックトック、ツイッター等、各種SNSの有料
広告を用いて発信してはどうか

1 外旭川地区まちづくりについて

- (1) 地域未来投資促進法の活用にあたって、県をはじめとした関係機関との意思疎通は図られているのか、また、今後の事業推進に向けたさらなる連携をどのように考えているのか
- (2) 新スタジアムや民間施設の事業主体を今年10月までに決めるとのことであるが、現在の状況はどうか

2 大森山動物園の運営について

- (1) 物価高騰による動物の餌代への影響はどうか
- (2) 休耕田を活用して、動物の餌となる作物を栽培するプロジェクトを立ち上げてはどうか
- (3) 動物園は、教育の場・憩いの場・観光の場等としての役割が期待されていると考えることから、様々な角度から事業展開を図っていくべきではないか
- (4) 来園者年間30万人を目指して、今後、どのような取組を行っていくのか

3 秋田市ふるさと名所百景について

- (1) 名所の整備及び保存活動の現状はどうか
- (2) 令和版の秋田市ふるさと名所の選定を今後検討してみてもはどうか

4 感染症対策について

- (1) 季節外れのインフルエンザの流行が懸念されるが、市民へどのような注意喚起を行っているのか
- (2) 本市独自の帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を検討すべきではないか
- (3) 風疹の抗体検査と予防接種が受けられるクーポン券の発送及びその周知は、どのように行われているのか、また、検査状況と接種状況は

どうか

5 防災等について

(1) 避難所における対応について

ア 社会状況の変化に合わせて、秋田市避難所開設・運営マニュアルの定期的な見直しは行っているのか

イ 避難所での感染症の感染対策はどのように行うのか

(2) 津波シミュレーションの作成経緯と動画の活用状況はどうか

(3) 災害時のボランティアについて

ア ボランティアの受入れはどのように行うのか

イ 被災者とボランティア双方のニーズの把握やボランティア受付時等の情報管理において、ICTを活用したシステムを構築してはどうか

6 地域の諸課題について

(1) 県道秋田雄和本荘線と県道雄和岩城線との交差点における事故防止策及び信号機の設置を県へ要望してはどうか

(2) 雄和ふるさと温泉「ユアシス」の令和7年度の改修に向けた工法、スケジュール等の検討の進捗状況はどうか、また、改修時期を令和7年度よりも早める考えはないか